

アレルギー・リウマチ学 *Allergology & Rheumatology*

1. 教育目標

リウマチ・膠原病、アレルギー疾患に関する疫学調査による新知見の探索、病因・病態生理の解明、新規バイオマーカーの開発、病態評価・予後予測を目的とした画像診断法の応用、分子標的治療に関する新治験の探索、新規治療薬の開発などの研究を通じて、リウマチ・膠原病、アレルギー疾患の病因・病態生理、診断・治療に関する知識を習得し、理解を深める。加えて、研究の魅力とやりがいを実感して欲しい。

2. 到達目標

- (1) 研究倫理を遵守し、公正な研究活動を行うことができる。
- (2) 研究計画の立案をすることができる。
- (3) 文献検索などの情報収集を行い、自身の研究に活用することができる。
- (4) 分子生物学の実験手法を理解・修得する。
- (5) 研究結果を客観的かつ科学的に解析し、考察することができる。
- (6) 医学統計学を理解し、研究結果の解析に活用することができる。
- (7) 研究成果を医学学会および医学論文で発表することができる。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

研究カンファレンスでの発表・データの確認(30%)、学会・研究会での発表(70%)

4. 教科書・参考書

特に定めていない。必要に応じて参考資料を配付する。

5. 準備学習

テーマ毎に文献検索を行い、知識を整理して授業・実習に臨むこと。(最低2時間) 日々学習することにより、復習として0.5～1時間程度かけて講義内容・実習内容をまとめておくこと。

6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【アレルギー・リウマチ学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	東准教授、古川助教	月曜/3限	通年	4	ミーティング グループ
講義	関節リウマチ研究 update	橋本講師、安部助教	火曜/1限	半年	2	ミーテング ルーム
実験 研究	コホート構築 (1) 培養細胞実験 (1)	東准教授、小川助教	木曜/3, 4限	通年	4	実験室
実験 研究	動物実験 (1) 横断研究、縦断研究	橋本講師、田村助教	金曜/3, 4限	通年	4	動物実験室 実験室

(第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	東准教授、田村助教	月曜/6限	通年	4	ミーティング グループ
講義	関節リウマチ研究 update	橋本講師、古川助教	火曜/6限	半年	2	ミーテング ルーム
実験 研究	コホート構築 (1) 培養細胞実験 (1)	東准教授、安部助教	木曜/6, 7限	通年	4	実験室
実験 研究	動物実験 (1) 横断研究、縦断研究	橋本講師、小川助教	金曜/6, 7限	通年	4	動物実験室 実験室

(第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	東准教授、古川助教	月曜/3限	通年	4	ミーティング グループ
講義	関節リウマチ研究 update	橋本講師、安部助教	火曜/1限	半年	2	ミーテング ルーム
実験 研究	コホート構築 (2) 培養細胞実験 (2)	東准教授、小川助教	木曜/3, 4限	通年	4	実験室
実験 研究	動物実験 (2) 横断研究、縦断研究	橋本講師、田村助教	金曜/3, 4限	通年	4	動物実験室 実験室

(第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	東准教授、田村助教	月曜/6限	通年	4	ミーティング グループ
講義	関節リウマチ研究 update	橋本講師、古川助教	火曜/6限	半年	2	ミーテング ルーム
実験 研究	コホート構築 (2) 培養細胞実験 (2)	東准教授、安部助教	木曜/6, 7限	通年	4	実験室
実験 研究	動物実験 (2) 横断研究、縦断研究	橋本講師、小川助教	金曜/6, 7限	通年	4	動物実験室 実験室